

## 大地震－我らは何を信じるのか

ローマ人への手紙8章18-39節  
2011、3、20 HKJCF

### I 概観

- |                |       |
|----------------|-------|
| 1、被造世界の苦しみと栄光  | 18-25 |
| 2、神様のうめきとご計画   | 26-30 |
| 3、苦難とキリストの愛の勝利 | 31-39 |

### II 被造世界の苦しみ:18-25

- 1、被造世界の苦しみ:18-20
- 2、それは人間の原罪と深い関係がある:21
- 3、その苦しみは産みの苦しみと言われる:22
- 4、キリスト者も苦しみと無縁ではない:23
- 5、キリスト者の苦しみには希望ある:24-5

### III 神様の悲しみと愛の勝利:26-39

- 1、聖霊は深くうめき、とりなしておられる:26
- 2、苦難には目的(意味・計画)がある:27-8
- 3、人生の最終目的は私たちがキリストに似たものとなる(義・聖・栄化する)ことである:29-30
- 4、私たちは呪・裁きから解放されている:31-34
- 5、神の愛から引き離すものは何もない:35-39

### IV 地震に関する聖書の教え

- 1、アモスの時代:アモス書1:1、8:7-14 BC760?
  - ①地震の2年前の預言
  - ②各国の罪の指摘
  - ③繁栄の中の霊的な暗黒が最大の災い
- 2、イエス様の時代:ルカ13:1-5
  - ①因果応報でない②信仰者の悔い改めが最重要
- 3、霊的な開眼の必要性:黙示録3:14-27
  - ①ラオデキヤの教会の暗黒②キリストと共に生活し、主人とする③キリストの勝利にあずかる

### V 適用

- 1、悲しまれる神:祈り、きめ細かなケア、霊的覚醒
- 2、神の目的とキリストの愛の勝利
  - ①苦難→意味→目的→計画→希望
  - ②義認・聖化・栄化→十字架:主の愛の絶対信頼
- 3、リバイバルとは信仰者が悔い改めること  
例:アモスとラオデキヤの教会  
⇒経済的に豊かであっても信仰が生ぬるく、生活と遊離した霊的な暗黒に向かう地震前の信仰であってはならない、私たち自身がへりくだろう